

# 豪州 - 金利1.50%、据え置き続く -

## ＜政策金利を1.50%で据え置き＞

9月5日、オーストラリア準備銀行（以下、RBA）は政策理事会を開催し、政策金利を1.50%で据え置くことを決定しました。

声明文では前回に続き、賃金の伸び悩みや家計部門の負債が高い水準にあることから個人消費の不透明感が指摘される一方、RBAのオーストラリア経済見通しに大きな変化がないことが示されました。今後も低金利がオーストラリア経済を支え続けると述べ、金融政策については金利を据え置くことが適切という見方が維持されました。一方で、労働市場の状況改善によって賃金はやがて幾分押し上げられるとの見通しが示されました。

## ＜豪ドルの推移＞

8月の豪ドルは前半はやや軟調でしたが、月を通じてはほぼ横ばいの動きとなりました。前半は、米朝関係の緊迫化によるリスク回避の動きなどから豪ドルは弱含みしました。しかしその後は、米利上げペースの鈍化観測が広がったことなどから米ドル安傾向となり、豪ドルは対米ドルで2015年5月以来の高値水準で推移しています。

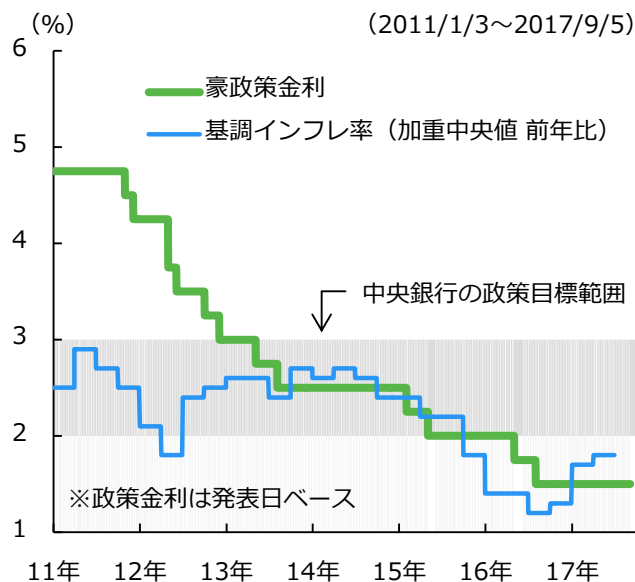
市場では、政策金利の据え置きが予想されていたため、据え置き発表後の豪ドルは小動きとなりました。東京時間午後2時現在、1豪ドル=0.7963米ドル、1豪ドル=87.09円となっています。

## ＜今後の見通し＞

オーストラリアでは賃金上昇率や物価上昇率が抑制された状態が続いているため、しばらく政策金利は据え置かれることが予想されます。

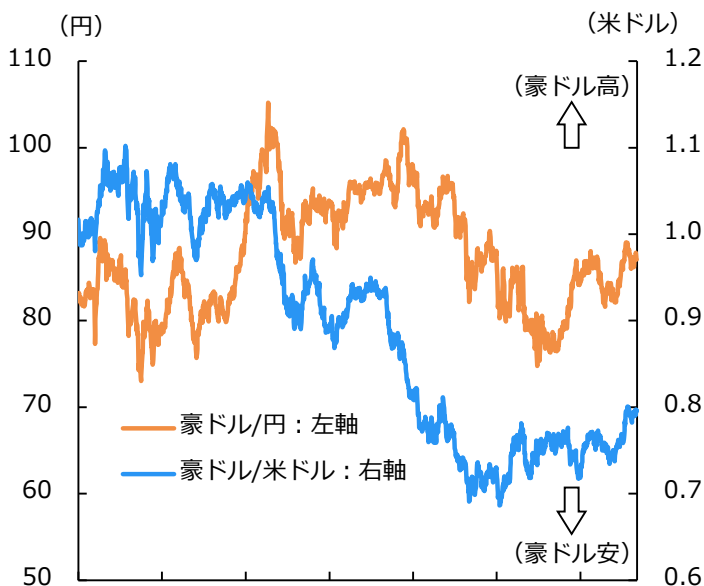
他方、引き続き低金利政策が下支えする形でオーストラリアの経済成長率は中長期的に緩やかに上昇していくことが見込まれます。雇用の拡大と持続的な経済成長とともにインフレ率も上向いていくことが予想され、豪ドルはしっかりとした展開が続くことが見込まれます。

## ＜政策金利とインフレ率の推移＞



11年 12年 13年 14年 15年 16年 17年  
※基調インフレ率は2011年1-3月～2017年4-6月

## ＜豪ドルの推移＞



11年 12年 13年 14年 15年 16年 17年  
(2011/1/3～2017/9/5 東京時間午後2時現在)

出所：Bloomberg

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会